

複式第1・2学年 国語科学習指導案

I組 1年 男子4名 女子4名
2年 男子3名 女子4名 計15名
指導者 原之園 翔吾

- 1 単元 たのしくよもう (教材「はなのみち」1年光村上)
お話を読んで、かんそうを書こう (教材「スイミー」2年光村上)

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

(第1学年)

この期の子どもたちは、これまで「どんなおはなしかな」や「あさのおひさま」の学習で、場面の様子について、挿絵を手掛かりにしながら想像を広げて読む能力や、言葉の響きやリズムを感じながら楽しく音読しようとする態度を身に付けてきている。

そこで、本単元では挿絵や登場人物の行動に着目して、各場面の挿絵を比較したり挿絵と叙述とを対応させたりする活動を通して、登場人物の行動や会話を中心に場面の様子について想像を広げながら読む能力や、想像を広げたことを伝え合いながら物語を楽しく読もうとする態度を身に付けさせたいと考え、本単元「たのしくよもう」(教材「はなのみち」)を設定した。

この学習は、物語の内容や文のリズムに注意して音読し、昔話の想像を広げながら楽しんで読む単元「こえにだして、たのしくよもう」(教材「おむすびころりん」)の学習へ発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

教材「はなのみち」は、主人公のくまさんが袋の中身をなくしてしまうものの実は袋の中身が花の種であり、春になってくまさんが歩いた後に花の一本道ができるという絵物語である。また、本教材は4つのそれぞれの場面に簡単な主述のある文と親しみやすい挿絵が添えられており、挿絵と叙述を対応させたり挿絵に出ている動物たちの会話を想像させたりすることで、想像を広げながら読むのに適した教材である。

そこで本単元では、野原の様子に着目して、くまさんや野原の動物たちの行動や会話を具体的に想像させるために、4枚の挿絵を比較させたり、挿絵や叙述をもとに登場する動物たちになりきって劇化させたりする活動を取り入ながら読み進めさせる。さらに、想像した動物たちの行動や会話を教材文に書き加えた紙芝居を作り、友達や2年生に発表することを単元の言語活動として設定する。

具体的には、まず、第1場面におけるくまさんと小鳥の会話を想像し、想像した会話を書き加えながら、教師と子どもとで共同して紙芝居を作成する試し作りの活動を設定する。そして、教材文に動物たちの会話を付け加えると物語がより楽しくなることに気付かせ、紙芝居を作るという言語活動への関心・意欲を高めさせる。

次に、教材「はなのみち」を場面ごとに読み、くまさんや野原の動物たちの行動や会話を具体

(第2学年)

この期の子どもたちは、これまで「おはなしを音読しよう」の学習で、場面の様子について、登場人物の行動や会話を基に動作化や役割読みをしながら想像を広げて読む能力や、物語の好きなところやその理由を友達に分かりやすく伝えようとする態度を身に付けてきている。

そこで、本単元では場面の様子を表す言葉に着目して、場面と場面の様子を比較したり、物語の内容と自分の体験と結び付けたりする活動を通して、登場人物の行動や気持ちを具体的に想像しながら読む能力や、物語を読んだ感想を友達と伝え合おうとする態度を身に付けさせたいと考え、本単元「お話を読んで、かんそうを書こう」(教材「スイミー」)を設定した。

この学習は、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し感想を書く単元「場面のうつつかわりをとらえて、感想をまとめよう」(教材「ちいちゃんのかげおくり」)の学習へ発展するものである。

教材「スイミー」は、主人公のスイミーが兄弟を失った悲しみを乗り越え、知恵と勇気を発揮してリーダー的な役割を果たしながら仲間と力を合わせて大きな魚を追い出し、平和な暮らしを取り戻す物語である。また、スイミーの行動によって場面が展開されていく構成や、比喩・色彩語などの表現の工夫によって物語は生き生きと描かれており、子どもたちが主人公スイミーの行動や気持ちについて想像を広げて読みやすい教材である。

そこで本単元では、海の中の様子に着目して、スイミーの行動や気持ちを具体的に想像させるために、海の中の様子を詳しく表す表現に着目させたり、各場面で心に残ったことを自分の体験と結び付けて感想にまとめさせたりしながら読み進めさせる。さらに、スイミーの作者であるレオ・レオニの作品の中から読みたい物語を選んで並行読書し、感想を書いて1年生に発表することを単元の言語活動として設定する。

具体的には、まず、物語を読んで感想を書くことについての課題意識をもたせるために、試し作りとして教材「スイミー」を読んで心に残ったこととその理由を書いた感想カードを作成させる。そして、見出した課題の解決方法を考えさせ、単元の目標を設定することで、1年生に感想を発表するという言語活動への関心・意欲を高めさせる。

次に、教材「スイミー」を場面ごとに読み、海の中の様子に着目して、スイミーの行動や気持ち

的に想像させながら読み取らせる。その際、くまさんやりすさん、挿絵に登場する野原の動物たちになりきって劇化する活動を設定したり、叙述には現れていない動物たちの会話を書き加えて紙芝居を作る活動を取り入れたりしていくことで、想像を広げながら読むことの楽しさを味わわせる。

さらに、終末では、まとめた紙芝居を友達や2年生に発表する活動を取り入れ、学習に対する有用感や成就感を味わわせるとともに、身に付けた国語の能力の価値を実感させる。

このような活動を通して、子どもたちは場面の様子や登場人物の行動など物語の内容を捉えたり、挿絵や叙述から登場人物の気持ちや会話を想像して友達と伝え合ったりして、学び合うよさや楽しさを味わうことができる。また、言葉同士の関係性を問い直して考えを形成し、自分の思いや考えを深めることができるようになっていく。

を具体的に想像させながら読み取らせる。その際、比喩や色彩語などの表現に着目させ海の中の様子を捉えさせたり、ペープサートを活用してスイミーや海の中の生き物たちの様子を表現させたりする活動を取り入れる。また、想像したスイミーの行動や気持ちと自分の体験と結び付けながら各場面ですべて心に残ったことを感想に書かせる。

さらに、終末では、場面ごとの感想カードをまとめた「感想ポートフォリオ」を活用させながら、レオ＝レオニ作品の感想を書かせ、友達や1年生に発表する活動を取り入れる。そして、試し作りの感想と比較させることで、変容に気付かせ、身に付けた国語の能力の価値を実感させる。

このような活動を通して、子どもたちは物語を読む際に、自分の思いを表現する能力や、友達と学び合うよさや楽しさを味わうことができる。また、言葉同士の関係性を問い直して考えを形成し、自分の思いや考えを深めることができるようになっていく。

(3) 子どもの実態 (調査人数1年8名, 2年7名, 質問法, 観察法, 主な項目のみ記入, 数字は人数)

第1学年	第2学年
<p>【①初発の感想】 最後に花の道ができたところがおもしろかった(4)/くまさんが種を落としてしまったけど最後に花が咲いてよかった(1)/くまさんが全部落としかけたところがおもしろかった(1)/動物がたくさんでてくるからおもしろかった(1)/くまさんとりすさんがかわいかった(1)</p>	<p>【①初発の感想】 最後に大きな魚を追い出したところがおもしろかった(2)/最後に協力して大きな魚を追い出したところがすごかった(2)/最初スイミーは可哀そうだったけど最後は仲間ができてよかった(1)/まぐろが突っ込んできて怖かった(1)/スイミーがとても頭がいいと思った(1)</p>
<p>【②内容把握】 ア 袋の中身……花の種(8) イ 花の道ができた理由……くまさんが花の種を落としたから(6)/暖かい風が吹いたから(1)/春になったから(1)</p>	<p>【②内容把握】 スイミーだけ逃げて一人ぼっちになる→元気を取り戻す→兄弟たちを見つめる→考えて協力して大きな魚を追い出す(6)/分からない(1)</p>
<p>【③動物の会話の想像(第1場面)※複数回答】 ア くまさん……教科書の会話文の言い換え「何だろう・何か入っている」(5)/袋の中身を推察する会話「花の種かな」(3)/次の場面へとつながる会話「りすさんに聞いてみよう」(2)/鳥へ話しかける会話「鳥さん何か分かる」(1) イ 小鳥さん……挨拶「おはよう・こんにちは」(4)/くまさんにたずねる会話「どうしたの」(4)/次の場面へとつながる会話「りすさんに聞いてみたら」(2)/物語の内容と関係ない会話「一緒に歌おうよ」(2)/分からない(2)</p>	<p>【③スイミーの行動の想像(第2・3場面)※ペープサートの動作化と説明】 ア 気持ちを表す叙述(寂しい・元気)に着目した動作化(4)/イ 叙述に基づかない想像の動作化(2)/ウ 海の中の様子に着目した動作化(1)</p> <p>【④表現の工夫への気付き ※複数回答】 ア 比喩表現(2)/イ 色彩語(3)/ウ 体言止め(0)/エ 倒置法(0)/オ 分からない(5)</p>
<p>【④言語活動について ※複数回答】 紙芝居を作りたい(8)/劇をしたい(7)/音読をしたい(5)</p>	<p>【⑤レオ＝レオニ作品の読書経験(「スイミー」以外)】 ア ある(7)……10冊以上(2)5冊以上(5)/イ ない(0)</p>

子どもたちの多くは、興味・関心をもって読むことができおり、特に、第4場面の花の道ができたことをおもしろいと捉えている(①)。袋の中身が花の種であったという事実は全員が捉えられている(②ア)。しかし、花の道ができた理由を叙述から季節の変化と関係付けて捉えられている子どもは少ない(②イ)。動物たちの会話の想像では挿絵から想像している子どもが多くいる一方、叙述にある会話文を言い換えたものや物語の内容との関連が無いものを回答した子ども、「分からない」と回答した子どもが少なくない(③)。本単元における言語活動の紙芝居作りについての関心は高い(④)。

子どもたちの多くは、第5場面でスイミーたちが協力して大きな魚を追い出した姿を肯定的に捉え、感想を記している。しかし、自分と比べて自分の体験と結び付けて感想を記述している子どもはいない(①)。物語の内容把握については、スイミーの行動や起こった出来事を中心に説明できる子どもが多い(②)。しかし、海の中の様子に着目して、スイミーの行動を具体的に想像し、ペープサートや言葉で説明できるまでには至っていない(③)。表現の工夫については、多くの児童が気付いていないことが分かる(④)。レオ＝レオニ作品の読書経験は多い。並行読書を行い、さらに、興味・関心を高めさせていく(④)。

(4) 指導上の留意点

ア 単元・教材への興味・関心を高めさせるために、第1場面のくまさんや小鳥さんの会話を想像し、教師と子どもたちとで共同して紙芝居を作成する活動を設定する。そして想像した会話文を書き加えることで物語がより楽しくなることに気付かせる。
イ 想像を広げて読ませるために、挿絵を比較したり、挿絵と叙述とを対応させたりして登場する動物たちの行動や会話について想像したことを書き加えながら紙芝居を作る活動を

ア 単元・教材への興味・関心を高めさせるために、「感想を書くためには、どのように読めばよいのか。」を観点とし、スイミーの行動やその背景にある気持ちまで読み取らなければならないことに気付かせ、教材を読む必要感をもたせる。
イ 想像を広げて読ませるために、比喩や色彩語などの表現に着目させ、海の中の様子やスイミーの行動を具体的に想像させるようにし、自分の体験と結び付け、場面ごとに「感想ポートフ

行わせる。

ウ 学習したことに対する有用感や成就感を味わわせ今後の自分の読書生活へとつなげるために、自分が作成した紙芝居を2年生に発表する合同発表会を設定するとともに、この学習で身に付いた国語の能力について振り返らせたり、紙芝居を発表することで得られたよさを交流させたりする。

エ 間接指導時には、ガイド学習を行っていく。そのため、直接指導を行う際には、子どもたちが間接指導でガイドをする際のモデルになるように、課題を受け止める際の「学び方」を意識して指導する。また、授業の終末では、学びの過程を振り返らせ、学習内容と「学び方」の発揮を関係付けて価値付ける。

オリオ」を記述させていく。

ウ 学習したことに対する有用感や成就感を味わわせ今後の読みにつなげるために、1年生に感想を発表する合同発表会を設定するとともに、試し作りで書いた感想と単元の終末での感想とを比較させ自身の成長を実感させたり、この学習で身に付いた国語の能力について振り返らせたりする。

3 目 標

- (1) 語のまとまりや言葉の響きに気を付けて楽しく音読することができる。
- (2) ・ 各場面の挿絵を比較したり、挿絵や叙述をもとに動物たちになりきって演じたりして、野原の様子を捉えることができる。
・ 野原の様子に着目し、くまさんやりすさん、野原の動物たちの行動や会話を具体的に想像することができる。
- (3) 紙芝居を作ることに関心をもち、動物たちの行動や会話を想像しながら、繰り返し読もうとすることができる。

- (1) スイミーや他の生き物の行動や会話、海の中の様子を詳しく表す言葉などの語彙を増やすことができる。
- (2) ・ 海の中の様子に着目して、場面の様子を比較したり、ペープサートで動作化したりしながらスイミーの行動や気持ちを具体的に想像することができる。
・ スイミーの行動や気持ちについて、自分の体験と結び付けながら感想をもつことができる。
- (3) 物語を読んだ感想を書くことに関心をもち、複数のレオ＝レオニ作品を読もうとすることができる。

4 指導計画(第1学年8時間、第2学年10時間)

学習課題・主な学習活動(第1学年)	学習課題・主な学習活動(第2学年)
1 学習意欲の喚起・試行・課題解決の見通し① 新しい紙芝居を作って、2年生に発表しよう。 もっと楽しい紙芝居にするためには、どのように読めばよいのだろうか。	1 学習意欲の喚起・試行・課題解決の見通し① レオ＝レオニさんの本を読んで、1年生に感想を発表しよう。 お話の感想を書くためには、どのように読めばよいのだろうか。
2 教材文の読み取りと紙芝居作り②～⑤ (1)～(4) はなのみち1～4の読み取り(本時④)	2 教材文の読み取りと感想の記述②～⑥ (1)～(5) スイミー1～5の読み取り(本時④)
3 試行(試し作り)の見直し⑥ 絵やくまさんのしたことに注目して、くまさんや動物たちがどんな会話をしているのかを想像しながら読む。	3 試行(試し作り)の見直し⑦ 海の中の様子を詳しく表す言葉に注目して、登場人物の行動や会話を想像したり、自分と比べたりしながら読む。
4 合同発表会をして、同学年や異学年の友達と感想の交流を行う。⑦	5 合同発表会をして、同学年や異学年の友達と感想の交流を行う。⑨
5 学習課題を解決し、これからに生かせるかを話し合う。⑧	6 学習課題を解決し、これからに生かせるかを話し合う。⑩

5 本 時(第1学年：4/8、第2学年：4/10)

(1) 目 標

「しまった」「なにもありません」という叙述や挿絵に描かれているくまさんやりすさんの表情に着目して、二人の会話を想像する活動を通して、袋の中身が無くなってしまい残念に思うくまさんの気持ちに気付き、二人の様子を具体的に想像することができる。

「～のような」や「～みたい」、虹色」といった比喻や色彩語など海の中の生き物の様子を表す言葉に着目し、スイミーが元気を取り戻した理由を考える活動を通して、スイミーが海の中のきれいな生き物や、おもしろい生き物に出会い段々と元気を取り戻していったことに気付き、自分の体験と結び付けながら感想をもつことができる。

(2) 本時の展開に当たって

子どもたちは、挿絵に着目して場面の様子についての気付きを発表することができる。そこで、表情が分かる本時の場面の挿絵を提示して「どうしてこんな顔になったのかな。」と発問し、前の場面と本時の場面のくまさんの表情や背景にある気持ちが違うことを捉えさせる。そして、「もっと楽しい紙芝居にするにはどうすればいいかな。」と問い、学習課題に焦点化する。また、二人の様子をより深く捉えさせるために、「自分や友達が想像した会話の中で、紙芝居に入りたいと思うものはどの会話ですか。」と問い、その根拠や理由を話し合わせる。

子どもたちは、スイミーの気持ちの変化についての気付きを発表することができる。そこで、「前の場面でスイミーはどのような気持ちだったかな。」と発問し、前の場面のスイミーの気持ちを想起させることで、「なぜ、スイミーは元気を取り戻したのだろうか」という課題意識を喚起し本時の学習課題に焦点化する。また、スイミーがだんだん元気を取り戻した理由をより深く捉えさせるために「ただの『くらげ』や『いそぎんちゃく』を見ただけで、元気になるのかな。」と問い、比喻表現や色彩語に着目させ、海の中の様子に着目させスイミーの気持ちについて話し合わせる。

(3) 実 際 ○直接指導時の教師の具体的な働きかけ ●間接指導に入る直前の教師の具体的な働きかけ

師の具体的な働きかけ	主な学習活動 (第1学年)	位置	主な学習活動 (第2学年)	教師の具体的な働きかけ
<p>○ ガイド学習のモデルを示すために、本文を読むよう指示し【場面設定、登場人物の言動】の観点に基づいて気付いたことを発表させる。また、場面の様子やくまさんの表情の違いに気付かせるために、前の場面と本時の場面の挿絵を比較して提示し、「どうしてこんな顔になったのかな。」と問う。</p> <p>○ 本時の学習課題を設定するために、【読む目的】の観点から、「もっと楽しい紙芝居にするためにはどうすればいいかな。」と問う。</p> <p>● 課題解決に向けて、見通しをもたせるために、二人になりきって演じながら会話を想像したり、想像した会話をノートと吹き出しカードに書いたりすることを確認する。</p> <p>○ 会話を想像して書かせるために、挿絵や叙述を基にペアで演じる活動を取り入れ、動物になりきって会話を考えさせる。</p> <p>○ 互いの考えを理解しながら話し合うことができるようにするために、同時間接指導の互いの考えを交流する活動において、互いの考えを繰り返すモデルを示したり、繰り返すよう促したりする。また、「どうして○○さんは、『くまさん：残念だなあ。』という会話を考えたのかな。」と聞き手の子どもに問い、根拠や理由を説明させる。</p> <p>● 想像した会話と教材の挿絵や本文とのつながりや二人の様子をより深く捉えさせるために、「自分や友達が想像した会話の中で、紙芝居に入れたいと思うものはどの会話ですか。」と問い、その根拠や理由を話し合わせる。</p> <p>○ 学び合いのよさを実感させるために、会話を想像し友達と交流する活動を通して、りすさんに聞きに行く場面の様子をより深く読み取れたことを振り返らせ、次時の学習に向けての意欲付けを行う。自分たちの学び合いのよさを実感させるために、「学習内容」や「学び方」を観点に自分や友達のよかったところを振り返らせ、価値付ける。</p>	<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p>どうしてこんな顔になったのかな。(前時の場面と本時の場面の挿絵を比較して提示する)</p> <p>前の場面では、わくわくしながら、りすさんのところに行っていたね。 → 前とこの場面ではくまさんの顔が違ってくるね。種を落としたりしたからね。</p> <p>もっと楽しい紙芝居にするためには、どうすればいいかな。</p> <p>前の時間は、書かれていない会話を書き加えると楽しい紙芝居になったよね。 → そうだね。でも、前の場面とは違うお話をしたいよね。どんな会話かな。</p> <p>りすさんのところに聞きに行くとき、どんなお話をしているのかな。</p> <p>2 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵や叙述を基に、くまさんとりすさんになりきって演じたり、二人の会話を想像したりする。また、想像した会話をノートと小黒板に書く。 <p>3 二人の会話を想像して書く。</p> <p>(1) 挿絵や叙述をもとに、ペアでくまさんとりすさんを演じながら、会話を想像し、ノートや吹き出しカードに書く。</p> <p>(2) 想像した会話をノートと吹き出しカードに書き友達と交流して伝え合う。</p> <p>さんの考え</p> <p>・挿絵(くまさん・りすさんの表情)・「あながあいていた。」</p> <p>【くまさん】……せつかくりすさんに聞きに来たのに残念だなあ。 → 【りすさん】……袋に穴が開いていたんだね。</p> <p>共通点：くまさんの表情への着目 差異点：疑問の気持ち</p> <p>共通点：りすさんの表情への着目 差異点：なぐさめる気持ち</p> <p>さんの考え</p> <p>・挿絵(くまさんの表情) ・なにもありません。</p> <p>【くまさん】……1つもなくなっちゃったなあ。いったい何が入っていたのかな。</p> <p>共通点：表情への着目 差異点：自分しかける対象</p> <p>さんの考え</p> <p>・挿絵(りすさんの表情) ・「しまった。」</p> <p>【りすさん】……穴から全部落ちてしまったんだね。くまさん元気出してね。</p> <p>自分や友達が想像した会話の中で、紙芝居に入れたいと思うものはどの会話ですか。</p> <p>私は、さんの「せつかくりすさんに聞きに来たのに残念だなあ。」という会話を入れたいと思いました。どうしてかというと、残念そうなくまさんの絵にぴったり合っていると思うからです。</p> <p>私も「残念だなあ。」がいいと思ったよ。別の理由なんだけど、たくさん入っていたのに、「なにも」なくなってくまさんはきっと残念な気持ちだったと思うからです。</p> <p>ぼくは、さんが考えた「何が入っていたのかな。」がいいと思います。なぜかというと、くまさんは袋の中身が何か分からないままだから、お話と合っていると思うからです。</p> <p>4 本時のまとめをする。【共通点・大事な考え】</p> <p>袋の中身が無くなってしまったことについてのお話をしている。</p> <p>5 紙芝居に会話文を書き加える。</p> <p>6 本時の感想を交流する。</p> <p>今日は、りすさんに聞きに行くときのお話を想像することができました。紙芝居をもっと楽しくすることができました。(学習内容)</p>	<p>1</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>15</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>1</p>	<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p>(1) 教材文を音読し、気付いたことを話し合う。</p> <p>(2) 本時の学習課題を設定する。</p> <p>前の場面では、とても悲しい気持ちだったな。こんなふうな、ゆっくり寂しそくに泳いでいたよね。 → でも、この場面では、スイミーはだんだん元気をとりもどしているよ。どうしてなのかな。</p> <p>なぜ、スイミーは段々元気を取り戻したのだろうか。</p> <p>2 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えの根拠となる言葉にサイドラインを引く。 考えと理由をノートと小黒板に書く。 <p>3 スイミーが元気を取り戻した理由について話し合う。</p> <p>海の中でいろんな生き物に出会ったからだと思う。(直感)</p> <p>さんの考え</p> <p>・けれど、海には、すばらしいものがいっぱいあった。 ・くらげ/いせえび/魚たち/こんぶやわかめ/うなぎ/いそぎんちゃく</p> <p>海の中のたくさんの素晴らしい生き物に出会ったからだと思うよ。</p> <p>共通点：登場する生き物への着目 差異点：きれいな生き物</p> <p>共通点：登場する生き物への着目 差異点：おもしろい生き物</p> <p>さんの考え</p> <p>・くらげの挿絵 ・くらげ/いせえび/魚たち/うなぎ等</p> <p>くらげやいそぎんちゃくなどきれいな生き物にたくさん出会ったからだと思うよ。</p> <p>共通点：きれいな生き物への着目 差異点：おもしろい生き物</p> <p>さんの考え</p> <p>・おもしろいもの・見たことのない ・くらげ/いせえび/魚たち/うなぎ等</p> <p>見たことのない魚とかおもしろい生き物にいっぱい出会ったからだと思うよ。</p> <p>【共通点・大事な考え】</p> <p>おもしろい生き物やきれいな生き物にたくさん出会ったから。</p> <p>ただの「くらげ」や「いそぎんちゃく」に出会っただけで、元気になるのかな。</p> <p>にじ色のゼリーのようなもも色のやしの木みたいな</p> <p>私はまだ見たことないけど、にじ色のくらげとてもきれいだと思うなあ。</p> <p>ぼくは、悲しいことがあったときに、友達がおもしろい絵を見せてくれて元気になったことがあったよ。スイミーのとでもきれいでおもしろいものに出会ったから、段々元気になっていったんだね。</p> <p>4 本時のまとめを行う。</p> <p>スイミーは、本当にきれいな生き物やおもしろい生き物に出会ったから、だんだんと元気をとりもどした。</p> <p>5 本時の場面の感想を書く。</p> <p>6 本時の感想を交流する。</p> <p>ガイドさんが、みんなの発表をしっかりと繰り返してくれたのでとても分かりやすかったです(学び方)。</p>	<p>● 課題を焦点化させるために、スイミーの気持ちの変化に着目して音読させる。そして、【場面設定、言動、感想・疑問】の観点に基づいて気付いたことやスイミーの行動や気持ちについての感想や疑問に思ったことを話し合わせる。</p> <p>○ 本時の学習課題を設定するために、「前の場面ではスイミーはどんな気持ちだったかな。」と問い、前の場面でのスイミーの気持ちを想起させたり、ペープサートで前の場面のスイミーの泳ぎ方を表現させたりして、前の場面と本時の場面でのスイミーの行動や気持ちを比較させる。</p> <p>● 課題解決に向けて見通しをもたせるために、「この場面ではスイミーはどんな泳ぎ方をしているのだろうか。」と問いかけペープサートで表現させたり、「みんなは辛い気持ちから元気になったことはあるかな。」と問い自分の体験と結び付けて考えさせたりする。</p> <p>○ 互いの考えを理解しながら話し合うことができるようにするために、同時間接指導の互いの考えを交流する活動において、「どうして○○さんは『きれいな生き物に出会ったから』と、考えたのかな。」と聞き手の子どもに問い、根拠や理由を説明させる。</p> <p>● スイミーが元気を取り戻した理由をより深く捉えさせるために、「ただの『くらげ』や『いそぎんちゃく』を見ただけで、元気になるのかな。」と問い、「にじ色のゼリーのような」や「もも色のやしの木みたいな」などの比喩や色彩語に着目させ、海の中の様子やスイミーの行動や気持ちについて具体的に想像させる。</p> <p>○ 単元の言語活動である感想の材料とするために「この場面でも心に残ったことは何ですか。」と問い、心に残ったこととその理由を、「感想ポートフォリオ」にまとめさせ、交流させる。</p> <p>○ 自分たちの学び合いのよさを実感させるために、「学習内容」や「学び方」を観点に自分や友達のよかったところを振り返らせ、価値付ける。</p>